

本日の授業者

アクティブ・ラーニング
授業デザインシート

神戸小学校

アクティブ・ラーニング型 授業デザイン

3年	算数科	単元名	何倍でしょう	3/3	神戸小学校 寺尾 由香
----	-----	-----	--------	-----	----------------

★ 単元のねらい
変量に着目し、何倍になるかを考えて問題を解くことができる。
☆ 本時のねらい
□のa倍のb倍を求める問題を、□×(a×b)の考え方で解決することができる。
○「アクティブ・ラーニング」におけるICT活用のポイント
追究の場面では、グループで話し合ったことをタブレットPCにまとめ、送信して全体で共有し、学習問題について話し合い、解決を図る。
◇ カルテからの目標設定
②主体力「自分の意見を言うときは、なぜそう思うのか、理由も説明している。」 話型をはっきりさせることで、理由の説明の仕方が、定着してきている児童がいる。それを高めるために、みんなに分かりやすく伝えるためにはということ意識させながら、「ま・つ・だ」の話型を活用し、定着を図る。
⑫協働力「グループやクラスのいろいろな意見をうまく使って考えを深めたり広げたりしている。」 学習活動のパターン化を取り入れたことで、見通しがもて、自信をもって取り組める児童が増えている。そのことを十分に生かしながら、グループで考えたことを、タブレットPCのオクリンクを使って図と式で表す。それを全体で共有しながら説明したり、聞いたりすることで理解を深める。

展開	時間	学習活動の流れ・予想される子どもの反応 (☆)	指導上の留意点と評価 (☆) (○ICT ●アクティブ・ラーニング ◎両方)	
問題の発見	8分	<p>1 前時までの振り返りをする。</p> <p>2 問題を読んで、分かっていることについて話し合う。 ☆ 問題の必要なところに線を引こう。 ☆ 今日の問題になっているところは、3日間で食べるチョコレートの数だな。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>学習問題 何倍になるかを考えて、図を使って分かりやすく説明できるかな？</td> </tr> </table>	学習問題 何倍になるかを考えて、図を使って分かりやすく説明できるかな？	<p>○ 前時の学習を振り返ることで、学習問題を解決するための筋道を確認する。</p> <p>○ 問題の提示の仕方を工夫し、問題解決への意欲を高めることができるようにする。</p>
学習問題 何倍になるかを考えて、図を使って分かりやすく説明できるかな？				
追究	20分	<p>3 自力解決をする。 ☆ 前時までのことをヒントに考えよう。 ☆ 何倍になる数は、どれだろう。 ☆ まずは、図で表してみよう。 ☆ 1回に2個ということは、2倍かな。 ☆ 2個が、3回だから2個の3倍だ。 ☆ 2個ずつが、3日間分だから、3日間分のところは、3倍だ。 ☆ 話をつなげてみると、1回分が2この3倍の3倍だから、3×3で9倍だ。</p>	<p>● 自力解決後にグループ学習をすることで、自分の考えを出しやすくしたり、友達の考えと比べやすくしたりできるようにする。</p> <p>● 図をどこからかいてよいのか分からない児童には、話の順に2つの数量の関係に着目させ、関係図をかくよう声掛けする。</p>	

	<p>4 グループで考える。</p> <p>☆ 説明が分かりやすくできるように、何倍かが分かる図をかこう。</p> <p>☆ 順番に考えて全部で何倍になるのかを考えないといけない。</p> <p>☆ 3日分のチョコレートは、1回分の$3 \times 3 = 9$倍だ。</p> <p>☆ 1回分が2個分だから2倍になるのかな？</p> <p>☆ まず・つぎに・だからを分かりやすく使おう。</p>	<p>◎ オクリンクを使って、グループで話し合ったことを簡単にまとめ、図を見て分かりやすく説明できるようにする。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">17分</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">解決</p>	<p>5 グループで考えたことを発表する。</p> <p>☆ まず、1回分が2個で、それを1日に3回食べるから、2の3倍になります。</p> <p>次に、それを3日分食べるから、1日分の3倍になります。</p> <p>だから、3日分のチョコレートは、1回分の3×3の9倍になるので2個の9倍で$2 \times 9 = 18$18個になります。</p> <p>☆ 何倍になるかを考えて解いているから正解だ。</p> <p>☆ もう少し言葉を付け足して、分かりやすい説明を試みよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ゴール</p> <p>2つの数の関係を図にかいて、何倍の関係になっているのかを考えると分かりやすい。</p> </div> <p>6 本時の振り返り（きらり）を書く。</p> <p>☆ 図にかいて考えると分かりやすい。</p> <p>☆ 図のかき方が分かった。</p> <p>☆ 問題をよく読むことが大切だ。</p> <p>☆ 友達の発表を聞いていると、図の説明がよく分かったので、自分も次はかいて挑戦したい。</p> <p>7 自己評価アンケートをする。</p>	<p>◎ 電子黒板を使ってお互いの意見を共有し、学習したことを伝え合うで、学習内容の定着を図る。</p> <p>● 図と説明の話型を使って、分かりやすい説明ができるようにする。</p> <p>☆ 数量の関係を、図を使って表し、何倍になるかを考えて問題を解く。(発言・タブレットPC・ノート)</p> <p>◎ タブレットPCを使ってアンケートをすることで、自分の学習の様子や変容が確認できるようにする。</p>

アクティブ・ラーニング型 授業デザイン

5年	社会科	単元名	自動車をつくる工業	7/9	神戸小学校 十亀 亮一
----	-----	-----	-----------	-----	----------------

★ 単元のねらい

自動車をつくる工業を具体例として、我が国の工業生産に関心を持ち、資料を活用して調べ、工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働きを理解するとともに、工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えることができる。

☆ 本時のねらい

海外での現地生産が増えてきている理由を資料をもとに考え、現地生産の様々な利点について理解することができる。

○「アクティブ・ラーニング」におけるICT活用のポイント

自分たちの考えをタブレット PC にまとめ、全体で共有しながら疑問や付け足しの意見などの交流を通して各自の考えを広げ深める。

◇ カルテからの目標設定

⑫協働力「グループやクラスのいろいろな意見をうまく使って考えを深めたり広げたりしている。」

タブレット PC を使って意見を共有することで、自分の考えに自信をもって発表したり、考えを広げたりすることのできる児童が増えてきている。本時でも、グループで考えた意見をタブレット PC や電子黒板を使って共有し、説明したり聞いたりすることや付け足し、反論の意見をもとに追究することで各自の考えを深めるようにしたい。

⑱活用力「集めた資料やデータを使って、分かりやすく説明したり発表したりしている。」

カルテによると本学級の児童は、資料から読み取ったことをもとに理由を考えたり、予想を立てたりすることを苦手とする児童が多かった。そこで、グループでの話し合い活動やヒントカードを用いた活動の経験を積ませることで、徐々に根拠をもとに自分の考えをもつことのできる児童が増えてきた。本時では、現地生産が増えてきている理由について資料やヒントをもとにグループで話し合い、現地生産の利点を根拠をはっきりと示して自分たちの考えをまとめられるようにしていきたい。

展開	時間	学習活動の流れ・予想される子どもの反応 (☆)	指導上の留意点と評価 (☆) (○ICT ●アクティブ・ラーニング ◎両方)
問題の発見	10分	<p>1 本時の学習問題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>学習問題 海外での現地生産をするとどのようないいことがあるのだろうか。</p> </div> <p>☆ 船で運ぶ手間がないから。 ☆ 輸送費がかからないから。 ☆ 海外で日本車が人気だから。</p>	<p>○ 電子黒板に資料を提示し、前時までの学習を想起できるようにする。 ● 海外で生産するデメリット(不買運動・教育の必要性・進出コスト)にふれ、それでも現地生産が増えているのはなぜか疑問を持たせる。</p>
追究	25分	<p>2 資料をもとにグループで考える。(トリオ学習)</p> <p>☆ 輸送費がかからないとどんないいことがあるだろう。 ☆ 輸送しなくていい場合、お金以外にどんないいことがあるだろう。 ☆ 日本と外国では車の細かい部分が違うのも関係あるだろうか。 ☆ 海外に工場がない場合、壊れたときはどうすればいいだろう。 ☆ 日本と比べると賃金はどうか。 ☆ 海外の人が喜ぶような理由はないだろうか。</p>	<p>● ヒントカードを用意し、児童の考えの手助けとする。 ◎ タブレット PC に書いたものを電子黒板に掲示し、全体での共有化を図る。</p>

アクティブ・ラーニング型 授業デザイン

6年	音楽科	単元名	私たちの国の音楽 ～越天楽今様～	7/7	神戸小学校 中塚 葵
----	-----	-----	------------------	-----	---------------

★ 単元のねらい

日本の伝統的な音楽や和楽器の音色や奏法の特徴を感じ取りながら、そのよさや面白さを味わって聴いたり表現したりする。

☆ 本時のねらい

雅楽「越天楽」の学習を生かし、より雅楽らしい響きになるように表現を工夫し「越天楽今様」を演奏する。

○「アクティブ・ラーニング」におけるICT活用のポイント

グループで考えた表現の工夫をタブレットPCに書き、電子黒板で共有することで、聴き合う際の着目点を明確にし、互いの表現のよさに気づき、多様な表現に触れるようにする。

◇ カルテからの目標設定

②主体力「自分の意見を言うときは、なぜそう思うのか、理由も説明している。」

これまでの鑑賞の学習では、感受したこと（～と思った、～のように感じたなど）を、聴き取った音楽的要素（速度や強弱、音色など）と結び付けながら伝えようとする児童が増えてきている。一方で、演奏の工夫を考える活動では、表現内容が表面的なものに留まり、思いや意図をもって表現するには至っていない。

そこで本時では、「越天楽今様」の演奏の工夫が、雅楽「越天楽」のどの部分からくるものなのかを、前時までの鑑賞の学習や雅楽体験をもとに、説明し、表現させたい。

⑫協働力「グループやクラスのいろいろな意見をうまく使って考えを深めたり広げたりしている。」

これまでの音楽づくりの学習では、ペアやグループで意見を出し合いながら一つの作品をつくる活動を行った。作品の発表時には、「聴いてよポイント」を共有することで、発表者は自信をもって発表することができ、聴き手は着目点が明確になることで、表現のよさに気付くことができた。

本時でも、グループで意見を出し合いながら表現の工夫を考えたり、「聴いてよポイント」を活用したりすることで、互いの表現のよさや多様な考えに触れ、自分の考えを深めたり広げたりできるようにしたい。

展開	時間	学習活動の流れ・予想される子どもの反応（☆）	指導上の留意点と評価（☆） (○ICT ●アクティブ・ラーニング ◎両方)
問題の発見	8分	<p>1 「越天楽今様」を歌う。 ☆ ゆったりと、落ち着いた声で歌おう。</p> <p>2 前時までの学習を振り返る。 ☆ 雅楽「越天楽」は、 ①優雅で神秘的な感じ。 ②「吹き物」、「弾き物」、「打ち物」の楽器がある。 ③音がずり上がったりつながったりしている。 ④間やずれがある。 ⑤飾りの音がある。 といった特徴がある。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学習問題 どのように演奏すれば、雅楽の雰囲気に近いことができるか。</p> </div>	<p>○ 「越天楽」の生演奏を鑑賞して感じ取ったことや、雅楽の楽器演奏を体験したことを映像で振り返り、より雅楽らしい響きになるように表現を工夫して演奏することを確認する。</p>

<p style="text-align: center;">30 分</p> <p style="text-align: center;">追 究</p>	<p>3 前時にグループで考えた演奏の工夫をまとめ、練習する。</p> <p>4 グループで考えた表現の工夫を伝え、演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 鍵盤ハーモニカを息の強さに気を付けて吹き、筆^{ひちりき}の感じに近付けた。 ☆ リコーダーはタンギングをせずに吹き、ところど^{りゆう}ころ指をすべらせるようにして穴をふさぐと、龍笛^{りゆうてき}の音に近付いた。 ☆ なるべく音が途切れないように、息継ぎのタイミングをずらした。 ☆ 小太鼓の響き線を外し、端の方を鳴らすと、鞆鼓^{かっこ}の音に近付いた。 ☆ トライアングルを軽く握って鳴らすと、鉦鼓^{しょうこ}の音に近付いた。 ☆ 柔らかいばちを使えば、マリンバの音も雅楽の優雅で神秘的な雰囲気に溶け込んだ。 	<p>◎ グループで考えた演奏の工夫「聴いてよポイント」を提示された話型を基にまとめることで、自信をもって自分たちの思いや意図を発表できるようにする。</p> <p>◎ 発表の始めに、グループで考えた表現の工夫「聴いてよポイント」を伝え、共有することで、聴き合う際の着目点を明確にし、互いの表現のよさに気付いたり多様な表現に触れたりできるようにする。</p>
<p style="text-align: center;">7 分</p> <p style="text-align: center;">解 決</p>	<p>5 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ゴール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音をずり上げたりつなげたりすると雅楽の雰囲気に近付いた。 ・ばちや息の使い方などの音の出し方を工夫すると、身近な楽器だけでも雅楽らしい響きを表現できた。 </div> <p>6 本時の振り返り（きらり）を書く。</p> <p>7 自己評価アンケートをする。</p>	<p>☆ 雅楽らしい響きを求めて表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 (発言・記述内容、行動観察)</p>